

第 17 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和7年4月24日（木曜）		午前9時30分 開会	
	休 憩			
	午前9時54分 閉会			
	休憩時間：0時間0分		会議時間：0時間24分	
会 議 場 所	3階委員会室			
出 席 委 員 氏 名	委員長 中村 和宏	委 員 堀切 忠		
	副委員長 中田智恵子	委 員 小笠原 等		
	委 員 鈴木 健充	委 員 伊藤 稔		
	委 員 立川 美穂		議 長 梶澤 幸治	
説 明 員				
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名	委 員 早苗 豊			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 大石真澄		
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会 委員長が開会を告げ、早苗豊委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件 (1) 調査事項 ア 3月定例会議の振り返りについて 資料1 ・委員長：資料説明を求める。 ・立川委員：資料説明（「1：自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等」「2：他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等」「3：今後の調査事項について」）。 ・委員長：項目ごとに調査を行う。最初に「1：自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等」について調査する。ここに記載の内容は、説明のとおり「全世代型の地域包括ケアシステム」について、町は令和7年度（今年度）先進地視察等を計画していることから、当委員会としても同様の視点で捉えて調査研究を継続すべきとの趣旨である。意見・質疑はないか？ ・中田副委員長：御提案のとおり、注視すべき視点と捉え、次期委員会への申し送り事項とすべきと考える。 ・委員長：他に意見・質疑はないか？なければ、ただいまの意見を踏まえ、本日、この				

後の協議事項となるが、次期委員会に「申し送りする事項」として整理することに異議ないか？

- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。次に「２：他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等」については、合同委員会に対し「『Park-PFI』の調査に係る課題の共有」を提案する趣旨である。意見・質疑はないか？
- ・中田副委員長：この件は、合同委員会に対する意見であることから、私と中村委員長も委員会運営の当事者であり、現時点で公式に整理されている合同委員会としての「調査の視点」について、確認の意味で説明する。それぞれ、３月１４日開催の「第８回合同委員会」のフォルダ中、「その他資料１：今後の調査の視点等について」のファイルを御覧いただきたい。この資料の「３：今後の調査事項について」は、かつこ書きに「（１月に実施した恵庭市での）先進地事務調査により抽出した課題」として４項目を整理し、このことは、すでに全委員で合意形成を図ったものとなっている。これを踏まえ 先日の附帯決議案の提案内容は、この４項目とかけ離れていないことから、改めて「調査の視点」としての課題を協議することなく、全委員で合意形成を図ったこの資料を基に、今後の合同委員会の調査を継続することで良いと考える。
- ・委員長：他にないか？
- ・立川委員：ただいまの説明を理解する。私が主張したい趣旨は、先日の附帯決議案の提案の際に、すでに合同委員会で共有した調査事項の他に具体事項を含める意図の発言があったことから、町民等の声を反映して新たに調査事項に加える際には、改めて全委員の中で協議・共有することを提案するものである。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：ただいまの意見・質疑を踏まえ、合同委員会における「Park-PFI」に係る現時点での調査課題は明確に整理されていることから、このことを改めて確認し、それぞれが次回以降の合同委員会に臨むことで異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。最後に「３：議会運営全般に関する検討」については、予算決算特別委員会に対し「議員間討議」の実施を提案する趣旨である。意見・質疑はないか？
- ・中田副委員長：立川委員の趣旨を踏まえて、検討すべきことと捉える。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：この件については、直接、厚生文教常任委員会から予算決算特別委員会に伝達するものではなく、議会運営全般を担う議会運営委員会で取扱いを協議していただくように申し送ることで異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。以上で 調査事項「ア」を終わる。

- ・委員長：次に「協議事項」の「ア：次期委員会への申し送り事項について」、資料説明を中田副委員長に求める。
- ・中田副委員長：この資料は、すでに昨年 12 月 23 日開催の第 13 回厚生文教常任委員会で決定した今年度の抽出事業の達成評価である。本日は、この資料を基に常任委員の 2 年任期の締めくくりにあたり、次期委員会に申し送る事項を正副案として整理したので協議したくお諮りする。次期に申し送るポイントのみ説明する。「資料 2-1」を御覧いただきたい。一つ目の抽出事業である「小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備」については 2 ページ目の表の一番最後に「特記事項」として整理した内容を申し送ろうとするものである。次に「資料 2-2」を御覧いただきたい。二つ目の抽出事業である「誰一人取り残さない防災体制の構築」についても、同じく 2 ページ目の表の一番最後に「特記事項」として整理した内容を申し送ろうとするものである。なお、先ほど「調査事項」の「3 月定例会議の振り返り」の取扱いの中で決定した「地域包括ケアシステムの調査研究」を加え、3 事業を次期委員会への申し送り事項とする正副案について、協議願いたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：今回の提案により、議会（委員会）活動の継続性が確保されることは、積み上げた活動がより充実することが期待できる。正副案に異論ない。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明のとおり、次期委員会への申し送り事項として決定することに異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：異議なしと認め決定する。以上で協議事項「ア」を終了する。

3 その他

（１）次回委員会の開催日程について 正副一任

（２）その他

- ・委員長：委員各位からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：事務局からないか？
- ・（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	2名	合計	3名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和7年4月25日

厚生文教常任委員会委員長 中 村 和 宏